

子供たちがどんどん成長する魔法のアイテム「心のパズル」!



説明動画

<https://youtu.be/lmvQwg3IH0o>

道徳科のA・B・C・Dの4つのそれぞれの視点が色分けしてあり、A⇒B⇒C⇒Dの順に同心円状で表してあるよ。

子どもたちがぼくたちの名前、色、アルファベットなどで道徳科の4つの視点に自然と目を向けるようになるよ。

小学校低・中・高学年から中学校まで、発達段階に応じて、作ってあるよ。

学校・学級のキャラクターを入れて、世界でたった一つだけのオリジナルパズルも作れるよ。



道徳科

方向付けに!

価値の

正直と明るい心

焦点化

より高い目標に向かってやりぬく

特別活動・行事等

運動会で伸びた心はどれかな?

感動する心や畏敬の念をもつ

振り返りで成長の実感に生かす!

役割を自覚し、よりよい学級や学校をつくる

感謝し、こたえる

働く喜びをもちみんなのために役立つ

道徳科

自然にかえす

見守る

自然や生き物を大切に

生き物を大切にすることは?

学級の

食べ物をやる

大切に飼う

整理に!

正直と明るい心で

親切にするために大切な心は?

友達を信じて助け合う

多面的・多角的な思考を生かす!

相手に思いやって親切に

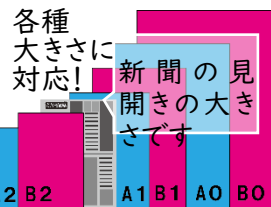
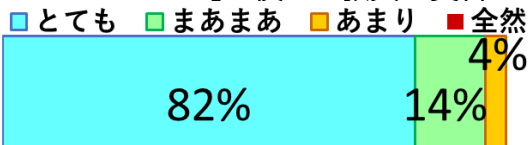
周囲の人への感謝

道徳科

「心のパズル」を学校・学級経営に活かすと...

「心のパズル」を活用した実践で、熊本市立銭塘小学校は、平成28年度熊本市教育論文で教育長賞(特選)を受賞した。さらに令和2年度「熊本道徳教育研究会『パズルの会』」代表:荒木隆伸氏の論文は上廣道徳研究賞で優秀賞を受賞(下記URL参照)する。いずれも子供たちの「自己有用感の有意な伸び」などを含めた非認知的能力の成長が報告されている。

「心のパズル」を使った教員の変容



「4つの視点」を取り入れた学級目標をつかったことで、それがいつも子供たちの言動から出てくるようになり、意識や行動がこれまでの学級経営と全く違う。



いろいろな教科でも使えて便利です。生活科や体育で共通の努力点として「心のパズル」の中から努力目標を選択し実践し、振り返りも行っています。



トイレのスリッパを並べていたら「それはどの心」と聞かれたから「『相手の立場に立って親切に』の心だよ」と答えました。学級の共通の言葉になっています。



内気な子でしたが「けがをしたお友達を『相手をおもいやって親切に』の心で進んで、保健室へ連れて行ったよ。」と嬉しそうに話し、成長を感じています。